

【妊娠中の検査】

お母さんと赤ちゃんが健康で過ごせるよう妊婦健診中に以下の検査を行います。

当院と契約のある市町村にお住まいの方は、妊婦健診受診票をご使用いただけます。

1. 妊娠初期～妊娠 12 週頃

1) 血液検査

①初回妊婦健診時:血液型・不規則抗体・貧血検査・

感染症検査(梅毒血清反応・B 型肝炎ウイルス・C 型肝炎ウイルス・ HIV・
成人 T 細胞白血病ウイルス・風疹ウイルス・トキソプラズマ)

②初診時(他院から紹介された場合):血液型・不規則抗体・不足の検査

2) 子宮頸がんの検査

2. 妊娠中期

1) 血液検査:貧血検査・血糖検査

2) クラミジア検査

3. 妊娠後期

1) 血液検査:貧血検査

2) GBS 検査

GBS(B 群溶連菌)とは? 腸や膣中に常在することのある菌で、大人にとって通常問題になることはありません。出産時にこの菌が膣周辺に存在すると、生まれた赤ちゃんに敗血症、髄膜炎、肺炎などを引き起こすことがまれにあります。GBS が検出された場合には、予防のため出産時に 抗菌薬の点滴を行うことが勧められています。

3) NST 検査:妊娠 37 週以降と医師の指示があるときに実施 します。

NST(NON-STRESS-TEST)とは? 出産に備えて、赤ちゃんの心拍数の変化と子宮収縮の有無を 20～40 分程度連続的に観察し、健康状態をみる検査です